



かめおか
乳幼児教育
センター



8月1日（金）「おとなかいぎ」



5月の講座では、映画「子どもかいぎ」を上映し、「こどもの世界」「こどもとの対話」について考える機会となりました。その後、「こどもとの対話」をキーワードに、保育実践をされた園から報告していただきました。報告される先生の生き生きとした目や言葉を聞きながらウズウズする大人たち。大人だっておしゃべりしたい！と「おとなかいぎ」を始めました。保育を語りあう先生方のキラキラとした目、話を聞いている先生の楽しそうな表情で、会場ごと「こどもの世界」の魅力に引き込まれていきました。

5月に映画を観たあと「子どもかいぎ」にチャレンジしている〇先生。時間帯は？ 何人くらい？ どんなテーマがクラスに合っているのか？ とよくよく考えて、チャレンジ中！ 子どもたちの考えを聞くのが面白い!! 担任も加配も子どもたちとの対話を楽しんでおられます。話があちこちへと、どんどん広がり脱線していく道々を楽しみながら、ありのままの子どもの言葉、考えに耳を傾けることの面白さの沼にはまっておられる実践でした。



無視をした、しないというAちゃんとBちゃんのトラブルからのピーステーブル（子どもたち同士で話し合うステージのこと）。大人が間に入らず、子どもだけに任せてみました。互いの心が正面から向き合ったからこそ、本当の気持ちをズバツと、はっきり言えたAちゃんの様子を教えてもらいました。

給食のことを考えて楽しく話す「こども給食研究会」からは、給食の食材や献立名、調理法などのお話があふれています。それだけにとどまらず、「おつかいとは?」「おじいちゃんは何日?」「明日は何日?」などなど…いっぱい脱線しながらのおしゃべりのおもしろさを聞かせてもらいました。

日頃から大切な話をサークルタイムでしている先生は、虫の「命」について子どもたちと考えました。一人一人が自分の考えを話し、思いを言葉にしていこう姿。その一つ一つの思いと言葉を、とっても丁寧に受け止めていく先生がいることで、子どもたちの対話は深まっていきました。

～感想～

- 今までけんかがあったら、すぐに間に入っていたけど、映画を観てからその様子を見て、待てるようになりました。そうすると、子どもの様々な思いや考えや姿が見えてきました!
- 色んな園の色んな年齢の実践を聞き、大人も自分の思いをおしゃべりができて楽しかったです。今、子どもたちとの対話がとても楽しいです。これからも、大切にしていきたいです。
- 子どもかいぎをまじめに進めていましたが、脱線こそが大切と聞いて、なるほどと思いました。そして、脱線ではなく広がり!! とのこと。子どもたちの話、世界はどんどん広がっていくので、そこに私も入りこんで、一緒に対話を楽しみたいと思います。